

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

学力向上検討委員会構成

木頭中学校
「学力向上実行プラン」

- 自分の意見や考えを伝える
- 学ぶ意義を実感し、主体的に授業に取り組む

学力向上推進員 榎本 陽子	委員 校長:松浦 和也 教頭:多田 祐亮 3学年主任:小西 楓美 2学年主任:龍田 大地 1学年主任:榎本 陽子
------------------	---

校長
松浦 和也

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

【各校の取組状況の把握について】

(1)知識・技能の習得

全教職員による授業参観の機会を生かし、取組状況の把握・改善を行う。

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○素直で純朴であり、自分が納得できたことは素直に受け入れることができる。 ●知識・技能に関する学習内容が、身に付いている生徒と身に付いていない生徒がいる。	・新しく得た知識・技能を、既習事項に結びつけながら、理解することができる。	・授業で小テストや、単元ごとの確認テストなどを実施し、生徒の学習内容の定着を図り、教員の指導改善に活用する。 ・少人数を生かした、個別指導の時間を計画的にもち、それぞれの生徒の実態に合った指導を行う。			

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○優しく授業で間違えたことを言っても大丈夫な雰囲気があり、自分の考えを自分の言葉で表現できる。 ●学んだことをもとに、自分の意見を相手に分かりやすくかつ具体的に書いたり、伝えたりする。	・自分の考えや意見を、相手に伝わるように根拠を示し筋道立てて説明することができる。 ・問われていることを正確に理解し、必要な情報を選択し、答えや考えを表現することができる。	・自分の考えを発表・表現する時間をつくる。 ・授業や、日記指導や、終学活で行っている話し合い活動やスピーチにおいて、5W1Hを明確にすることや、他の必要な情報が含まれているかの検討や、根拠を示すことを指導する。			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○真面目で、指示されたことはしっかりとこなすことができる。 ○問いかけに対する答えは、時間がかかるが返すことができる。 ●授業に対して指示を待ちがちで受け身的な傾向があり、自ら課題を見つけたり、考えたりする姿勢が乏しい。	・自ら課題を見つけ、自分で考えたり、他者と意見交流をしたりすることを通して、自分の考えを深めたり、自ら課題解決に取り組んだりすることができる。 ・各教科の学習に主体的に取り組むことができる。	・教員の過剰な助言を控え、生徒自身が考え学習を進められるように、学習課題や学習の進め方を工夫する。 ・教員のICTの活用能力を向上させ、生徒の学習意欲を引き出すことで、粘り強い取組を行おうとする態度を促す。 ・振り返りの時間を確保し、自らの成長・変化に気づかせることで、自らの学習を調整しようとする態度を促す。			

令和6年度 学力向上ロードマップ

